

これからの学校制服の行く先は？

－新聞報道から探る私たちの制服の未来予想図の一考察－

－関修紅高等学校 NIE 発表グループ

1. 「現在の学校制服の生い立ち立ち位置は？」

- ・学校制服について、誕生(制定)から現在までの歴史的な変遷をたどり、それぞれの時代に社会から求められてきた役割や問題点を明確にする。
- ・ジェンダー論や制服の多様化・自由化など、現在様々な角度から見直しや新たな進展を求められている学校制服の現状について、全国紙と地方紙（紙媒体・ウェブ版）の双方から情報を収集して、国内共通のトピックスと地域ごとの話題をそれぞれピックアップすることで、学校制服の転換点となるポイントを絞り込み、これから先の展望を探る。

2. 「現在の学校制服の立ち位置は？」

- ・記事（話題）を類型化（タイプ別に分類）し、それらの話題は「どの視点からの要請であるのか、誰から見た誰のための制服でありたい（あるべき）か」についての分析や考察を加え、求められている制服像に迫る。

ここでの視点は、A 当事者としての生徒 B 購入者としての保護者 C 第三者としての大衆
a 当事者としての生徒 b 指導する側の学校・教師 c 地域・進路先

と定めて、それぞれの考えや思惑、実感などの意見を無記名任意のアンケート（選択式・記述式）を実施して、新聞紙上で報じられている学校制服を取り巻く社会の流れと現場サイドでの共通認識や差異の有無を浮かび上がらせる。

3. 「制服は誰のために？ 学校制服の将来像」

実際、日々の学校生活に制服を着用している私たち「生徒」の生の声（認識）と1・2で明らかにしてきた社会的な要請を照らし合わせ、2で挙げた視点すべてから認められる学校制服の将来像について、一定の方向性を見出していく。

※アンケートに回答してくれる方々に集計結果を公表し、その結果を見ての感想をインタビュー形式で集約する。最終的には本大会での発表について、校内紙・地域紙で公表する。寄せられた反響を加味したうえで、次年度以降の探究テーマとして継続実施の有無を総合的に判断する。